

平成25年度事業計画

Ⅲ 平成25年度基本方針

平成2年に設立し、同22年から公益財団法人に移行した当協会は、時代の情勢に応じながら、世界の人々と共に生きる国際性豊かな社会の創造を目指し、①「多文化共生社会の実現」②「交流人口の拡大」③「人づくりへの貢献」の3つの基軸により、各種事業を展開してきた。

公益法人移行後には、甚大な被害をもたらした東日本大震災が発生するなど、我々を取り巻く環境はさらに大きく変化を続けている。今なお東北各地では復興まちづくりやコミュニティの再生、こころのケアなどに向けた懸命な努力が続けられているが、被災地では、地域の日本語教室が、災害時の外国人市町民の安否確認や情報提供、生活支援等の拠点になったことは記憶に新しく、阪神・淡路大震災を経験した兵庫県においても、身近に地域の外国人の生活を支えるための連携のしくみが不可欠であると再認識したところである。

そこで、平成25年度に特に取り組むべき事業として、①「多文化共生社会の実現」においては、県内国際交流団体のネットワークの構築を目指した「ひょうご国際交流団体連絡協議会（仮称）」の設立や、セーフティーネットとしての地域日本語教室開設の支援などを進める。

また、②「交流人口の拡大」においては、半世紀におよぶ米国ワシントン州との各種交流事業を通じた草の根レベルの国際交流を推進するとともに、③「人づくりへの貢献」では外国人留学生の支援においてアジア新興国枠を設定するなど、多様な事業に積極的に取り組んでいく。

各事業の実施にあたっては、県の行財政構造改革の推進も視野に入れ、協会の有するソフト・ハードの経営資源を活用し、市町・民間国際交流団体、NGO/NPOや地域の国際機関等と緊密な連携の下、効率効・効果的に執行していく。

Ⅳ 事業内容

1 多文化共生社会の実現

(1) 外国人児童生徒への学習支援

① 外国人児童生徒の居場所づくり

(予算額 8,621 千円)

ア 日本語教室・学習支援教室

県内各地のボランティア等による外国人児童生徒に対する日本語・母語学習の取り組みを支援・促進するため、ボランティア団体等との共催で日本語教室・学習支援教室を実施する。

なおこれらの教室は、外国人児童生徒等が定期的集まる場所として定着していることから、併せて日本の生活習慣や学校文化等を学ぶ機会を提供し、外国人児童生徒の日本語能力、教科学習・生活能力を育み、同じ立場の仲間が支え合える拠点づくりを目指す。

・講座数：25 講座（予定） [24年度 日本語教室・教科学習支援教室：32 講座]

・進学に向けた教科学習支援教室：6 講座（予定）

[24年度 進学に向けた教科学習支援教室：6 講座]

イ 母語教室・学習支援教室

外国人児童生徒にとって、アイデンティティーの保持や家族とのコミュニケーションを図るための母語の学習や、日本語による理解が難しい場合の教科学習支援としての母語による教科学習支援が大切となっていることから、外国人児童生徒の状況に応じた言語習得・教科学習の支援を行うため、ボランティア団体等との共催で母語教室・教科支援教室を実施する。

・講座数：15 講座（予定）

[24年度 母語教室・教科学習支援教室：18 講座]

ウ 活動支援

ボランティア団体等が実施する日本語教室、母語教室、教科学習教室は、外国人児童生徒等にとって定期的に集まる身近な場所として定着していることから、これらの教室等を核として、地域ニーズに合った事業を追加実施し、安心して地域社会で成長するための支援拠点づくりを目指す。

(ア) 先輩に聞こう！

- ・内 容：外国人児童生徒に対し、同様の経験をした先輩の高校生や大学生による体験談を聞き、将来の目標や進路を考える機会とする。

・箇所数：5箇所（予定） [24年度 9箇所]

(イ) ころや進路のカウンセリング

- ・内 容：心理カウンセラーや教員経験者等による、心や進路の悩みに対するカウンセリング

・箇所数：10箇所（予定） [24年度 6箇所]

(ウ) 活動応援

- ・内 容：外国人児童生徒が自由に集まり、自己表現等様々な活動を企画・実施し、大学生等ボランティアが支援する

・箇所数：10箇所（予定） [24年度 9箇所]

② 外国人児童生徒への日本語・学習支援者の育成 (予算額 343 千円)

ア 日本語・学習支援者養成講座の実施

外国人児童生徒向け日本語教授法の提供や、実践的課題の解決を目指した指導者養成研修を実施する。

- ・場 所：神戸市内1ヶ所 [24年度 2回（神戸市）、計126名受講]

イ 日本語・学習支援アドバイザーの派遣

外国人児童生徒への日本語講座を開講する団体にアドバイザーを派遣し、指導に関する相談を受ける。

- ・場 所：県内2ヶ所 [24年度 2団体（神戸市）、計21名受講]

③ 母語教育支援研修会の開催 (予算額 260 千円)

母語教育は、外国人児童生徒にとりアイデンティティーの確立や精神的安定が得られるなど大きな効果があるとされていることから、母語教育への理解を深める研修会を開催する。

- ・対象者：母語教育関係者

・時 期：平成25年8月

・定 員：80名

[24年度 実施日：7月31日、63名受講]

④ 母語教育支援のための教材づくり (予算額 3,000 千円)

母語教育支援のさらなる充実を図るため、県内居住者が多いことから母語教室も多く開催されているベトナム語及び、ポルトガル語及びスペイン語の教材づくりや、これら教材を活用した研修を行う。

- ・防災研修会の開催（外国人コミュニティとの共催）

対 象：ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語を母語とする親子を主とした外国人県民

内 容：外部講師を招き、平成24年度に作成した母語教材を使用した防災研修会

- ・母語教材の多言語化

内容（予定）：子どもの防災教材（中国語、英語、フィリピン語）、

「日本の昔話」（ベトナム語、ポルトガル語）、

〔 24年度 日本の昔話（スペイン語 250部）
子どもと親の防災ガイドブック
（ベトナム語 500部、ポルトガル語・スペイン語各 250部） 〕

⑤ 外国人学校交流の推進 **(予算額 2,691 千円)**

外国人学校が、自然とのふれあいや地域住民との交流を行うことにより、地域社会への理解と、ひいては、兵庫県への理解を深めることを目的に実施する自然学校等の事業に対し助成する。

- ・ 助成対象：外国人学校
- ・ 助成金額：助成対象経費の1/3（上限：428千円/校）
- ・ 内 容：1泊2日以上 の県内自然交流施設等での体験学習

〔 24年度 12プログラム（H24.12月末現在）〕

(2) 日本語教育の推進

① 日本語教育指導員等の配置 **(予算額 13,226 千円)**

外国人県民が安心して暮らしていくためには、日本語の習得が不可欠であることから、日本語教師などを配置し、日本語教室の運営、ボランティアの育成・指導など日本語教育支援を図る。

また、文化庁が日本語教育の手法として、「生活者としての外国人」のための日本語教育を普及・推進していることを踏まえ、生活日本語推進員を配置し日本語教育の支援を図る。

② 外国人県民日本語講座の開催 **(予算額 4,900 千円)**

県内在住外国人の日本語能力向上のため、年間を通して日本語講座を開設・運営する。

- ・回数等：年間48回、延96時間（1期16回×3期、週2回、1回時2間(18:30-20:30) 授業
但し、中級・中上級は年間24回、延48時間、週1回授業
- ・期 間：第1期 5～7月、第2期 10～12月、第3期 1～3月
- ・クラス：年間9クラス：初級3(A～C)、初中級2(D・E)、
中級2(F1：会話・F2：読解)、中上級2 (G1：会話・G2：読解)
- ・定 員：各クラス20名
- ・受講料：1期2,000円 ※テキストは各自購入

〔24年度 延べ430名受講（第1期148名、第2期147名、第3期135名）〕

③ 夏期集中日本語講座の開催 **(予算額 2,262 千円)**

県内在住外国人の日本語能力向上のため、夏休みを利用した日本語講座を開設する。

- ・期 間：7月～8月（月曜～金曜の16日間）
- ・クラス：7クラス：初級3(A～C)、初中級2(D・E)、中級1(F)、中上級1(G)
- ・受講料：1期2,000円 ※テキストは各自購入
（初級(3)、初中級(1)、中級(1)、中上級(1)）
- ・定 員：各クラス20名
- ・回数等：16回、延べ48時間（9:00～12:00）

〔24年度 103名受講〕

④ 外国人県民の居場所づくり：地域日本語教室支援 **(予算額 6,750 千円)**

県内ボランティア団体等による外国人に対する日本語学習支援の取り組みを支援・促進するため、

ボランティア団体等との共催で日本語教室を開設し、費用の一部を負担する。

なお、これらの日本語教室は、外国人県民が定期的集まる身近な場所であることから、併せて日本の生活習慣や文化慣習等を学ぶ機会も提供し、外国人県民が地域で安心して暮らせる拠点づくりを進める。

- ・ 対 象：県内で基本的な日常日本語会話学習を必要とする外国人に対する日本語教室等を開催するボランティア団体・グループ等
- ・ 内 容：日本語教室運営に要する経費の一部を協会が負担
- ・ 講座数：45 講座（予定） [24 年度 42 講座]

⑤ セーフティネットとしての地域日本語教室開設 (予算額 1,200 千円)

県内各地に在住する外国人県民が安全・安心に暮らすためには、生活に必要な日本語の習得がまず必要であることから、日本語教室の未設置市町・同国際交流協会と連携し、緊急時には情報提供等を併せて行うことができる、セーフティネットとしての日本語教室の設置を進める。

- ・ 内 容：日本語教室未設置市町・同国際交流協会と協働し、地域の実情に即した日本語教室の開設を1市町につき2年間支援
- ・ 設置数：3町（予定） [24 年度実施 相生市、佐用町]

⑥ 日本語学習支援ボランティアの育成 (予算額 776 千円)

ア 日本語学習支援ボランティア養成講座

県内各地域で日本語学習支援の必要性の啓発を行うとともに、日本語教授法の指導等を行い、日本語学習支援に携わるボランティアを養成する。

- ・ 期 間：週1回 5時間 計6回開催（予定）
- ・ 場 所：県内1地域（予定）
- ・ 定 員：30名

[24 年度 相生市延べ57名、佐用町延べ69名、計延べ126名受講]

イ 日本語学習支援ボランティア・ブラッシュアップ研修の実施

当協会の日本語学習支援ボランティア養成講座を受講した団体を対象に、外国人に対して日本語支援を行っている人々の技術的な問題解決のための指導を行う。

- ・ 対 象：1団体3回、1回3時間、年間3団体に派遣（予定）
- ・ 内 容：日本語教授法等に関する技術的指導

[24 年度 宍粟市、猪名川町、たつの市 計延99名受講]

ウ 日本語学習支援アドバイザーの派遣

日本語学習のニーズの多様化に伴い、活発化する日本語学習支援ボランティアの資質向上と活動支援を図るため、協会登録日本語教師をアドバイザーとして派遣する。

- ・ 対 象：県内で活動する日本語学習支援ボランティアグループ
- ・ 回数等：1団体2回、1回2時間、年間6団体に派遣（予定）
- ・ 内 容：日本語教授現場での観察・指導、教材・カリキュラムや教授法等の理論的な助言

[24 年度 7団体（養父市、淡路市、三田市、明石市、神戸市、播磨町、豊岡市）、計延197名受講]

⑦ 日本語教育実践講座の実施 (予算額 155 千円)

県内の日本語教師養成のため日本語教育専修の学生等に日本語教育の現場参加の機会を提供する。

- ・ 時 期：7～8月
- ・ 定 員：日本語学科生等約30名（予定） 〔24年度 23名参加〕

⑧ 日本語教育研修会の開催 （予算額292千円）

地域の特性に応じた外国人に対する日本語教育推進体制の整備を図るため、県内日本語支援団体等と連携し日本語教育の課題の理解を深める研修会を開催する。

- ・ 時 期：12月（予定）
- ・ 定 員：50名 〔24年度 12月実施、61名参加〕

(3) 外国人県民への生活支援

① 国際交流団体等ネットワークの構築 （予算額3,123千円） 【新規組換】

県内の国際交流団体が有するノウハウや情報の共有、有効活用を図るネットワークを構築し、団体相互の連携を推進するとともに、兵庫県における国際交流の充実・発展や多文化共生社会づくりを目指すことを目的とした「ひょうご国際交流団体連絡協議会」を立ち上げ、事務局としてその運営を担う。

- ア 情報共有・発信
 - ・ ネットワーク団体主催のイベントの支援
 - ・ ホームページの開設
- イ ボランティア情報バンクの運営
 - ・ 各ネットワーク団体に登録しているホストファミリー、多言語ボランティアの情報を共有する情報バンクを設置し、構成団体間でマッチングできるシステムを構築
- ウ ネットワーク構成団体職員の人材育成
- エ 啓発・普及事業等の実施
- オ 地域国際交流団体への連携支援 等

② 外国人県民インフォメーションセンターの運営 （予算額25,478千円） 【前年度1,020千円減】

ア 外国人県民生活相談の実施

出入国、婚姻、医療、労働、教育など外国人県民の日常生活の多様な相談に応じるため、4言語による相談員及び専門相談員による生活相談を実施する。

- ・ 人 員：相談員5名（英語(1)、中国語(1)、スペイン語(2)、ポルトガル語(1)）
 専門相談員1名（弁護士による法律相談・週1回）

〔 24年度(H24.12月末現在)
 相談件数：2,381件 〕

イ FM放送による県政・生活情報の提供

FM COCOLO（関西インターメディア株）を活用し、県政情報や外国人県民が生活する上で必要な情報を、隔週で提供する。

〔 現在放送中の内容 放 送 局FM COCOLO (76.5MHz)
 放送回数：週4回（2分30秒間）言語：英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語 〕

③市町・NGOと連携した外国人県民相談活動の実施 （予算額2,640千円）

夜間、休日等の相談に応じるため、市町と連携してNGO/NPOが行う相談活動等の費用の一部を支援する。

- 対象団体：3団体

24年度

実施団体：NGO 神戸外国人救援ネット、
NPO 法人篠山国際理解センター、ひめじ発世界
相談件数：422件（3団体合計H24.12月末現在）

④ 多言語生活ガイドホームページの運営 (予算額395千円)

外国人県民が日本で生活する上での生活情報を掲載した多言語生活情報ガイドホームページを運営する。

- 内容：10言語による生活情報の掲載

〔 24年度 日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、
ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、タイ語 〕

⑤ 外国人県民生活サポート活動の支援 (予算額3,600千円)

外国人コミュニティによる、生活相談、情報提供などの生活支援活動、子どもに対する母語教室の開催等を支援する。

- 対象団体：3団体

〔 24年度：NGO ベトナム in KOBE、NPO 法人関西ブラジル人
コミュニティ CBK、ひょうごラテンコミュニティ 〕

⑥ 多文化共生を考える研修会の開催 (予算額1,280千円)

外国人県民と接する機会の多い行政職員、教員、日本語教師、ボランティア等が、多文化共生について理解を深めることができる研修会をNGOと協力しながら開催する。

- 対象者：行政職員、教員、日本語教師、ボランティア、外国人支援NGO 等
- 時期：8月（4日間）
- 定員：各日100名程度

〔 24年度 実施日：8月20日～27日（うち4日間）
延べ335名参加 〕

⑦ 医療現場で役立つ日本語研修会の開催 (予算額250千円) 【新規】

外国人県民が安心・安全に生活するために、日本語に不慣れな外国人向け「やさしい日本語」による情報発信が重視されてきており、医療等の業務において、外国人県民と接する、または外国人県民向け広報・ホームページ等を作成する担当者を対象に、「やさしい日本語」の意義を説明し、その表現のしかたを具体的に学ぶ研修会を開催する。

- 時期：25年10月（予定）
- 定員：50名

2 交流人口の拡大

(1) 国際交流の推進

① ひょうご国際プラザの管理・運営 (予算額 143,929 千円) 【前年度 6,892 千円増】【組 換】

世界に開かれ世界の人々と共に生きる国際性豊かな地域づくりを推進する拠点として「ひょうご国際プラザ」を設置・運営する。

また、施設の活用を通じ、国際分野で活躍する団体やボランティアグループ等との連携強化や、ネットワークの拡充を図る。

ア 国際情報センター (図書資料コーナー、日本語教育コーナー等)

国際交流に係る情報収集、書籍等の資料購入など情報基盤の整備を行い、図書資料コーナー等の設置により情報提供を行う。

24年度(H24.12月末状況)

蔵書数 20,234 冊

ライブラリー数(DVD等) 1,128 冊

施設利用者数 16,568 人

イ 日本語教育推進室

県内の在住外国人への日本語教育の推進に向け、日本語教育の活動拠点及び日本語教育教材の収集・管理の場として、日本語教育推進室を管理・運営する。

ウ 国際交流サロン (交流ギャラリー、交流サロン)

国際交流や国際協力等に関するパネルや写真、絵画を展示し、一般県民に公開する。

エ セミナールーム

国際交流団体等が会議や活動を行うためのスペースや、日本語・母語講座実施団体等が講座を開催するための場所として、また、協会自らが実施する外国人県民日本語講座や各種研修会、セミナー開催の活動用スペースを整備する。

② 海外事務所の運営 (予算額 128,046 千円) 【前年度 3,396 千円減】【組 換】

海外における経済情報の収集等を行うため、兵庫県ワシントン州事務所、西オーストラリア州・兵庫文化交流センター、兵庫県パリ事務所、兵庫県ブラジル事務所及び兵庫県香港経済交流事務所を運営する。

ア 経済活動への支援

海外の経済情報などを収集、分析し、県の国際経済交流活動や県内企業の経済活動の向上に資する。

イ 兵庫の魅力・観光PRの促進

海外企業や海外政府関係者などに対して、会議の開催や面談など、様々な機会を捉えて情報を提供することで、海外企業等の来県促進、本県PRを行う。

ウ 日本語、日本文化の紹介

現地での日本語教育を支援し、本県の文化や日本文化、日本語を紹介し、広く本県への理解の促進に資する。

③ ワシントン州姉妹提携50周年記念 県友好訪問団への参画 (予算額 2,753 千円) 【新 規】

兵庫県とワシントン州が姉妹提携を締結して50周年を迎える年にあたり、HIA友の会会員等をはじめ県民各界各層に対し、旅行会社等が企画する同州への魅力的な訪問団への参加を呼びかけ、現地での周年記念行事への参加や現地での草の根交流を目的として県友好訪問団に参画する。

・実施時期 平成25年8月頃

④ 広東省学生訪問団の受入 (予算額 3,354 千円)

兵庫県と広東省の友好交流を一層促進させるため、広東省学生訪問団の受入を実施し、兵庫県と広東省の相互交流の一層の充実を図る。

参加者 広東省大学生 約 190 名、省政府関係者 約 10 名

- ・主な内容 歓迎セレモニー(訪問団来県を記念して歓迎レモニーを開催[場所:県公館予定])、大学訪問交流、ホームステイの実施、「兵庫県・広東省交流の集い」の開催
- ・実施期間 平成 25 年 10 月予定

⑤ 広東省省民訪問団の受入 (予算額 1,715 千円)

兵庫県と広東省の友好交流を一層促進させるため、広東省省民訪問団の受入を実施し、兵庫県と広東省の相互交流の一層の充実を図る。

- ・参加者 広東省民 約 100 名
- ・主な内容 表敬訪問(場所:県公館予定)、ホームビジット、交流のつどい 等
- ・実施期間 平成 25 年 10 月予定

⑥ ひょうごホームステイ受入事業 (予算額 1,122 千円)

兵庫に滞在する外国人が日本家庭で過ごすことにより、日本人、外国人の双方が異文化体験や相互理解が深められるよう、安全・安心に受入が可能となるホームステイの受入・調整について、総合的なコーディネート等を行う。

- ・ホームステイの対象:関係団体、HIA の実施する各種青少年交流プログラム参加者
県下大学等の留学生や県内 A L T 等で日本の生活を知らない者

⑦ 訪日教育旅行の誘致促進・学校交流支援 (予算額 6,092 千円)

ア 訪日教育旅行の受入促進

訪日教育旅行において重視されている学校交流等を県内において促進するとともに、若年層の交流拡大によるリピーターや兵庫ファンづくりを図るため、教育委員会・学校・地域等における受入体制の推進に向けた調整等に取り組む。

イ 学校交流支援事業の実施

訪日教育旅行にかかる学校交流に係る企画・調整や、学校現場と訪問団の円滑な交流の実現に向けた取り組みを行う。

24 年度 (H24. 12 月末状況)
台湾 20 団体 790 名
韓国 11 団体 404 名
その他 10 団体 211 名

⑧ 海外における兵庫県の P R 促進事業 (予算額 6,675 千円)

5 つの海外事務所において、文化教室の開催などにより日本文化とのふれあいの場を提供し、兵庫県の産業、文化、観光等を紹介する。また、現地での日本語教育を支援することで、さらに兵庫県への理解を促進する。

⑨ 友の会事業の推進 (予算額 1,869 千円)

国際交流に関心のある県民による「友の会」を設置・運営し、県民が主体となった草の根の国際

交流活動を支援し、国際交流の良き理解者の輪を広げる。

- ・ 主な内容：食文化交流教室、バスツアー、オックスブリッジ英会話教室・セミナー、各種広報誌等の配布 等

24年度

第1回食文化交流教室 37名（7月4日）

第2回食文化交流教室 44名（10月1日）

第3回食文化交流教室 57名（1月23日）

オックスブリッジ英会話教室 延71名（8月15日～17日）

オックスブリッジ英語セミナー 16名（8月18日）

ミニツアー 33名（7月21日）

バスツアー 30名（10月20日）

⑩ 県内外国人等の視点による兵庫の資源の発掘事業 (予算額 3,179 千円)

県内在住外国人や留学生等が持つ外国人の視点からの兵庫の観光資源を発掘し、兵庫のPR素材として広く県内外の外国人に対して情報発信する。

ア ロコミ情報の収集

留学生や旅行者に対するアンケート等により、外国人からみた兵庫県の観光資源を調査することで、これまで日本人からの視点では埋もれていた魅力ある観光資源を発掘する。

イ 県内在住外国人が持つ兵庫の観光やグルメなどをもとに、これらを活用した観光のためのWEBサイトを（韓国語、英語）制作・リリースし、日本への観光を考えている韓国・英語圏の人に対して、兵庫をPRする。

(2) 知的交流の推進

① 孫中山記念会への支援 (予算額 800 千円)

在日中国人留学生や中国人観光客が増加し、地域における人的・経済的交流が盛んになるなか、近代中国に対する理解を深め、中国の友好省との交流を促進することを目的として、孫文を核とした日中関係調査研究を行う孫中山記念会の活動の支援を行う。

主な内容

- ・ 孫文を核とした日中関係の調査研究活動
- ・ 情報発信、人的交流の促進

② 国際協力セミナー等の開催 〔再掲（P37参照）〕

③ 日米教員の交流 (予算額 110 千円)

姉妹州・ワシントン州との友好交流事業の一環として、両県州の教員を相互に隔年で派遣し、学校関係者との意見交換、教育機関を含む県（州）施設などの視察・見学、ホームステイ体験などにより、両県州民の相互理解と交流促進に資する。

- ・ 概要：両県州の教員を相互に隔年で派遣する。（平成25年度：派遣）
- ・ 派遣時期：平成26年3月（予定）
- ・ 派遣人数：教員15名程度（随員職員なし）

24年度

受入時期 6月26日～7月2日

受入人数 16名

④ オックスブリッジ英語サマーキャンプの実施 〔再掲（P38参照）〕

⑤ 国際会議開催への助成 (予算額 30,000 千円)

県内への国際会議誘致を促進するため、会議開催費の一部を助成する。

- ・ 助成金額：一般枠 200 万円以内 (総事業費の 5%以内)
- 特別枠 500 万円以内 (総事業費の 10%以内)

[24 年度助成件数 18 件]

⑥ 国際会議場の活性化 (予算額 550 千円)

淡路夢舞台国際会議場の活性化を図るため、国際会議場を会場に各種会議、セミナー、シンポジウム、展示会等を主催又は共催の形式で開催する。

[24 年度 開催実績 ころづくり絵画教室 10 月 14 日]

(3) 国際理解の促進

① 民間国際交流事業への助成 (予算額 2,166 千円)

県民による国際交流活動を育成・奨励するため、先駆的・先導的な国際交流事業に対し助成する。

- ・ 助成額：助成対象経費の 1/2 (上額 10 万円)
- ・ 対象事業：県内で国際交流活動に継続的に取り組む NGO/NPO 等の非営利団体が行う国際交流事業。

[24 年度 助成件数：23 件]

② 国際交流団体等ネットワークの構築 [再掲 (P32 参照)]

③ 国際交流等諸団体への支援 (予算額 1,950 千円)【新規】

県内において、本県が推進する国際交流・協力を積極的に展開している民間諸団体に対し、分担金等を支出して、その活動を促進、支援する。

④ 国際協力セミナー等の開催 (予算額 761 千円)

開発途上国をめぐる諸問題や国際協力に対する県民の理解を深め、国際協力活動への参画を促すため、国際協力の専門家、県内 NGO の活動家や青年海外協力隊 OB 等を講師に招き、国別・テーマ別のセミナーやフォーラムを開催する。

[24 年度 2 回開催]

⑤ 友の会事業の推進 [再掲 (P36 参照)]

⑥ 交流の集い開催事業 (予算額 1,639 千円)

友の会会員が、参画と協働を基本に外国の社会や文化を学びながら、外国人コミュニティや国際交流団体、外国人県民等と交流を図る「交流の集い」を開催する。

- ・ 時期：平成 26 年 3 月
- ・ 場所：神戸市内
- ・ 参加人数：150 名程度

⑦ 日米教員の交流 [再掲 (P36 参照)]

⑧ オックスブリッジ英語サマーキャンプの実施 (予算額 1,560 千円)

オックスフォード大学及びケンブリッジ大学の学生を県内大学・高校等に派遣し、英会話授業や国際交流事業を実施する。

- ・ 実施期間：平成25年7月中旬～8月中旬（予定）
- ・ 受入学生数：約10名
- ・ 派遣先団体：約10団体

24年度
 実施期間 7月18日～8月19日
 受入人数 延べ192名

⑨ 海外移住と文化の交流センターへの支援 (予算額1,000千円)

平成21年6月に開館した神戸市立海外移住と文化の交流センターにおいて、在住外国人が日本人へ自国文化を発信し交流する事業をNPO団体等との協働で実施し同センターの活用を図る。

ア 多文化交流フェスティバルの開催（年間2事業程度）

24年度 2事業
 ・ ブラジル・日本の子どもの絵の交流展（9～10月）
 ・ サロン・カーナヴァウ（2月）

イ 多文化交流子どもサミットの開催

24年度
 実施期間 11月23日～11月24日
 参加者数 89名

⑩ 広報紙 (Come HIA) の発行 (予算額3,202千円)

国際交流・協力に関する各種情報及び協会の活動状況等を掲載した広報紙「Come HIA」を発行し県民の国際感覚の醸成及び国際理解の促進を図る。

24年度
 8月、11月、2月発行
 各号4,000部

⑪ 兵庫県海外移住家族会事業 (予算額254千円)

海外への移住者を援護激励するとともに、本県に在住する留守家族との橋渡しを行うことを目的として、会報及び兵庫県の情報を提供するとともに、海外移住と文化の交流センター内のNPOと連携して会員相互の親睦を図る。

⑫ 兵庫EU協会への支援 (兵庫EU協会で予算計上)

EU（欧州連合）及びその加盟国と兵庫県との相互理解を深めるとともに、友好を促進している兵庫EU協会の活動を支援する。

⑬ 日本国際連合協会兵庫県本部への支援 (国連協会兵庫県本部で予算計上)

国際連合の活動や国際問題について知り、世界平和や人権についてともに考えるため、日本国際連合協会兵庫県本部の活動を支援する。

3 人づくりへの貢献

(1) 外国人留学生の支援

① 私費外国人留学生奨学金の支給 (予算額 72,357 千円)

留学生の生活の安定を図り学習活動を支援するため、私費外国人留学生に対し、奨学金を支給する。また、今年度より、県下中小企業が今後展開しようとしている東南アジア等における新興国からの留学生を確保するため新たにアジア新興国枠を設定する。

- ・ 支給額：月額3万円
- ・ 支給期間：1年間
- ・ 支給人数：200名（うちアジア新興国枠25名） [24年度 200名]

② 留学生住宅機関保証推進システムの推進 (予算額 1,000 千円)

留学生の民間住宅への円滑な入居を進めるため、大学等が賃貸借契約の保証人となる機関保証の実施に当たって必要な資金貸し付けを行う。

- ・ 貸付先：留学生版安全・安心ネット連絡会
- ・ 貸付金額：100万円

(2) 人材育成

① ひょうご海外研修員の受入 (予算額 14,653 千円) 【前年度 4,637 千円増】

兵庫県の友好州省をはじめとする諸外国から優秀な青年を研修員として受入れ研修機会を提供することにより、課題解決型の交流を促進する。

- ・ 受入人数：5名
- ・ 主な内容：専門分野の研修（県内企業、研究機関等）
日本語研修（兵庫県国際交流協会） [24年度 3名受入]

② ひょうごトルコ友愛基金による支援 (予算額 4,543 千円)

平成11年のトルコ北西部大地震の際に県民から寄せられた義援金をもとに設立された「ひょうごトルコ友愛基金」の育英資金給付事業を支援するための事業を実施する。

諮問機関：「ひょうごトルコ友愛基金支援委員会」（官民の委員で構成）

- ア 青少年派遣による震災遺児・孤児等との交流
- イ 震災遺児・孤児育英資金給付事業のフィードバック事業
- ウ 友愛基金の管理運営の支援
〔 23年度 震災遺児・孤児の招へい（隔年実施）
育英資金受給者4名、引率1名 〕

③ セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流の促進 (予算額 海外事務所運営費、ひょうご海外研修員受入で計上)

セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流を行い、両県民間の相互理解と友好関係を促進する。

ア 研修員の受け入れ(ひょうご海外研修員制度を活用)

- ・ 時期：平成25年9月～12月（3ヶ月間）
- ・ 受入人数：2名 [24年度 1名]

イ 日仏交流コーディネーター（日本文化教師）の派遣

- ・ 時期：平成25年10月～平成26年9月（1年間）
- ・ 派遣先：セーヌ・エ・マルヌ県内の大学及びセーヌ・エ・マルヌ経済振興公社ほか
- ・ 派遣人数：1名 [24年度 1名]

④ 外国語指導助手（ALT）を活用した人材の育成 **（予算額 兵庫県教育委員会で計上）**

外国語指導助手（ALT）を活用して、高校生の海外留学支援や姉妹校等との国際交流の推進を図り、国際的に活躍できるグローバル人材を育成する。

《その他事業》

① 篠原住宅管理事業

兵庫県が所有する旧オーストラリア総領事公邸を協会が借り受け、関西地域で活動する外国人ビジネスマン等への住宅物件として賃貸し、国際交流施設としての有効活用を図る。

- ・所在地 神戸市灘区篠原本町
- ・敷地面積 2,400 m²
- ・建物 鉄筋コンクリート造2階建 3棟 (1,374 m²)

- ② 外国人児童生徒の居場所づくり [再掲（P28参照）]
- ③ セーフティネットとしての地域日本語教室支援 [再掲（P31参照）]
- ④ 外国人県民の居場所づくり：地域日本語講座支援 [再掲（P31参照）]
- ⑤ 外国人県民生活サポート活動の支援 [再掲（P33参照）]
- ⑥ 医療現場で役立つ日本語研修会の開催 [再掲（P33参照）]
- ⑦ 友の会事業の推進 [再掲（P36参照）]
- ⑧ 国際交流等諸団体への支援 [再掲（P37参照）]
- ⑨ 交流の集い開催事業 [再掲（P37参照）]
- ⑩ 兵庫県海外移住家族会事業 [再掲（P38参照）]